



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年葉月20日

第11号

校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

「それぞれの夏、次は私たちの番です！」

体育部活動 新チームが始動しました

この夏、ブロック大会、筑後地区大会、福岡県大会を終えた体育部活動は、秋に大会がある駅伝部の活動を残してそれぞれ新チームとしての活動がはじまっています。



8月に入ってから部活動のようすをみにいくと、そこに3年生の姿はありません。これまで先輩の背中を追いかけてきた1、2年生がこれから主体となって、それぞれのチームを支えていかなければなりません。つらいときに支えてくれた3年生の姿を心に刻みながら、リーダーとなった2年生を中心に、**新しい、そして自分たちらしいチーム**をつくっていきこうと汗を流しています。

それぞれの目標に向かって、「積小為大」「つながり」「ありがとう」を合言葉に、仲間とともに日々の小さな努力を積み重ねていってほしいと願っています。

みなさま、**大原中の新しい力**を応援していただきますようよろしくお願いいたします。

「それぞれの夏、不満な顔ひとつ見せずに！」

文化部活動は、秋の文化発表会に向けて・・・

この夏休み、毎朝8時過ぎから夕方まで、校舎改修工事の大きな音が鳴り響いています。工事箇所は音楽室や美術室も含まれています。**吹奏楽部**の子どもたちは西側教室棟3階の社会科教室や数学科教室で、**美術部**の子どもたちは管理棟1階の理科室でそれぞれ活動を行っています。

しばらくの間、不便な思いをさせてしまうのですが、そのような状況の中でも子どもたちは、**不満な顔ひとつ見せることなく、日々真剣に音づくりや作品づくりに取り組んでくれています。**

現在、感染拡大予防のため、部活動が停止となっています。

不便な状況を正面から受けとめて、自分たちのやるべきことを考えて気持ちを乱すことなく前を向いて取り組む子どもたちのことを尊敬します。



「できることを信じて・・・！」 リーダーたちの熱い夏

夏休み、3年生の教室をのぞくと、各ブロックのリーダーたちが体育大会に向けて自分たちの演舞をつくっています。

本年度は、全学年がいっしょに踊るように計画しているため、1、2年生にわかりやすく伝えることができるように、リーダーたちも必死です。3年生にとって**最後の体育大会ができることを信じて仲間とともに懸命に努力している姿**に胸が熱くなります。そんな子どもたちを心から応援したいと思います。

汗をかく 自分のことはあとにして
みんなのために 歩みつつける 晴一

「自分たちの手でつくりあげる・・・！」

生徒会夏期リーダー研修会



8月4日（水）、5日（木）、二日間にわたって、生徒会の夏期リーダー研修会が行われました。

まず、1学期の活動の振り返りが行われました。次に、2学期に行われる体育大会や文化発表会に向けてのスローガン決めが行われ、熱のこもった話し合いが行われました。自分たちがどんな願いをこめて取り組んでいくのか、「**繋**」というスローガンを念頭におき、一人一人が全体のことを考え、一つ一つの言葉にこだわりながら、充実した研修会を行うことができました。

リーダーたちの真剣な姿をみながら、制限された中、**仲間とともに考え抜いてできることを見出そうとしている子どもたち**のことがいとおしくて、心から応援したいと思います。

小さいけれど大きな感動 その11 「夏休み編」



この夏休みもたくさんの感動の場面と出会うことができました。みなさまに紹介します。

夏休み期間中、ずっと校舎改修工事が行われています。その際に出るほこりが管理棟まで飛んできて歩いた後の足跡がはっきりとつくくらい職員室前の廊下が汚れます。三日に一度、雑巾がけをしているのですが、その活動をはじめたとき、駅伝練習後で疲れているにも関わらず、**何も言わずに雑巾を手にして、汗びしょりの姿で黙々と手伝ってくれる子どもの姿**に出会いました。

また、違う日の朝には、バケツを手にしてごみ拾いをしてきている子どもたちの姿やグラウンドの草取りをやってくれている子どもたちの姿に出会いました。

目を転じると、畑の水やりをしてきている子どもの姿に出会いました。

どれも、誰の仕事でもない活動です。どれも「やりなさい」と言われてしかたなくやっている活動ではありません。すべて子どもたちの自発的な活動です。

いつもいつているのですが、「**なんてすてきな子どもたちなのだろう！**」と思います。自ら進んで「誰の仕事でもない活動」に取り組んでくれた子どもたちの姿に大感動です。